## SHIBUKAWA ART RELA 2024 in IKAHO

ソーシャリーエンゲージドアート企画書 2024年4月

• 渋川アートリラ2024 in 伊香保 企画概要

• ソーシャリーエンゲージドアート企画について

• 渋川アートリラ2024 in 伊香保 企画概要

• ソーシャリーエンゲージドアート企画について

### 渋川アートリラの理念

SHIBUKAWA ART RELAの「RELA(リラ)」はRELATION(関係性)やRELAY(つなげる)といった単語の頭文字を取った造語。

後ろに続く文字によって多様な変化を受け入れるという想いを込めて、「アートで人と人がつながり、 多様な価値観を認め合っていく」ことができれば、と考えています。

この渋川を舞台としたアートイベントを通して、関係者のみならず参加者の皆様ともつながることで、 多世代が関わり、人と人のつながりが生まれ、地域活性化の一助となればと考えています。







#### イベントの概要

伊香保地区の旅館・商店などに展示されたアート作品や参加型のアートコンテンツを体験することが可能。参加パスポートには旅館/商店で割引を受けられる特典やスタンプラリー特典も付いており、 お得に街歩きを楽しむことができます。

## 

## これまでの沿革

2020年から活動を開始し、今回で4回目となるアートイベント。

年(西暦)月	活動内容
2020年12月	同年11月に渋川市提案型市民協働事業として採択され、渋川アートリラのプレ事業と してアート体験型ワークショップを実施。
2021年3月	渋川アートリラ2020 in 伊香保実施(第1回)。主催:渋川子ども若者未来創造プロジェクト
2021年5月	(一社)渋川伊香保温泉観光協会が観光庁による令和2年度第3次補正予算事業「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」の一環として、渋川アートリラ2022 in伊香保の事業検討開始
2022年12月	渋川アートリラの取り組みの一環としてアーティストインレジデンス(以下、AIR) を伊香保温泉旅館にて受け入れ開始。
2022年2月	AIRで制作された作品展示を中心とした渋川アートリラ2022 in伊香保(第2回)を実施。主催:渋川伊香保温泉観光協会
2023年2月	渋川アートリラ2023 in伊香保(第3回)を実施。主催:渋川伊香保温泉観光協会。 AIR作品に加え、第2回AIRで制作された作品をそのまま伊香保の地に遺して展示を 続けてきたものをアーカイブ展示として新作AIR作品と合わせて展示。

• 渋川アートリラ2024 in 伊香保 企画概要

• ソーシャリーエンゲージドアート企画について

#### イベント全体概要

■タイトル : SHIBUKAWA ART RELA 2024 IN IKAHO 渋川アートリラ2024 in 伊香保

■目的 : アートイベントを通して、イベントを作り上げる人たちが関わり合い、作り上げる過程を経て、より強いつな

がりを作っていき、そのパワーにより盛り上がっている伊香保を外に向けてアピールする。来街者も楽しく、

その輪に入っていきたくなるようなイベントを生み出すことで、伊香保のファンを増やす。

■開催期間 : 2024年9月29日(日)~10月27日(日)(予定)

会期準備:9/23(月祝)~9月28日(土)/撤収:10月28日(月)~29日(火)(30日(水)は予備)

■内容 : (1)イベント開催期間の展示内容

・アーティストレジデンス作品展示

・過去作品のアーカイブ展示

・市民アーティストによる企画展示

・参加者と共に作り上げる企画展示

・参加型アート体験コンテンツ

(2) 展示以外のプロジェクト

・リラてぃぶ(市民ボランティア)

・地域課題解決のためのソーシャリーエンゲージドアートプロジェクト

・地元商店とのコラボ企画

・非日常感を演出する装飾等

■主催: 渋川アートリラ実行委員会

#### 渋川伊香保地域の各所にアートを通じた観賞や体験イベントを点在させ、街の回遊を促します







アーティストレジデンス作品展示 : コンセプトを体現した伊香保のアート展示



市民アート展示:市民から公募した渋川の風景作品の展示等を行う





アート体験:参加者が気軽にできる体験型のワークショップ





その他の企画プロジェクト:商店とのコラボ企画、 参加者と共に作り上げる企画プロジェクト

## **ARTLESS**

~アートと伊香保の新たな関係性~

#### **ARTLESS**

~アートと伊香保の新たな関係性~

ARTLESS「アートレス」は

芸術性がない、という意味もあれば、その純真な、素朴な、正直な、自然のままの、という意味があります。

また、美術用語としてはアートに対する盲目的な信仰を意味する「アートフル」と対で用いられることが多いですが、 かといって反芸術志向を強調を意味するのではなく、あくまでもアートと社会とのバランスを強調することに主眼が置 かれた言葉として用いられます。

「アート作品を創ること」は必要な手段であって、その過程の交流を、素直に素朴に、人を大事にする形で出来るといいのではないか、と考えました。

アートがいらない、ということではなく、アートの純粋なアート性ではなくて、アートと社会の関係性を考える SEA(ソーシャリー・エンゲージド・アート)としてのプロジェクトを目指していく、というコンセプトです。

• 渋川アートリラ2024 in 伊香保 企画概要

• ソーシャリーエンゲージドアート企画について

## 伊香保における地域の課題を緩やかに変革へと導いてくれる ソーシャリーエンゲージドアーティストを公募します。

■事業名 : 渋川アートリラ2024 in 伊香保 ソーシャリーエンゲージドアート事業

■内容 : 「渋川アートリラ2024 in 伊香保| 内の企画として行うソーシャリー・エンゲージド・アートプロジェクト

で、アートプロジェクトを実施していただけるアーティストを募集いたします。

アーティストには伊香保の地に滞在しながら、イベントコンセプトである「ARTLESS」をテーマに、地元

住民やボランティアの方々と協働して、伊香保の現状を少しずつ緩やかに変革の方向へ導いてくれるきっか

けを提示していただけるアートプロジェクトを企画・実行していただきます。

また滞在期間中は伊香保の観光地や地元市民と積極的に交流を図り、地域の文化芸術を通しコミュニティの

発展に貢献していただきます。

■応募内容 : 募集形態 滞在型アートプロジェクト

募集人数 1~2組程度を想定

審査方法 書類+面談 (オンライン) による審査

■スケジュール : 募集締切 2024年6月15日 (土) 17時必着

面談実施 2024年6月19日(水)、6月21日(金)、6月22日(土)の3日程で実施

決定通知 一次審査:2024年6月17日中にメールにて連絡

最終審査:7月上旬ごろ決定

滞在日程 2024年7月下旬ごろから

会期日程 2024年9月29日~2024年10月27日

■応募方法 : 応募方法等の詳細は「ソーシャリーエンゲージドアートPJ応募概要」を参照

## 伊香保の玄関口に佇むお地蔵さん お地蔵さんにとって、地域にとって良い方向は何か?

#### ①背景:

伊香保の入り口である、ビジターセンター前にあるお地蔵さんは伊香保の守り神と伝えられる。そのお地蔵さんは元々、別の場所にあったのが工事の関係で移設され、現状では、広大に太陽光パネルが設置された土地の片隅で佇んでおり、少しもの寂しい。

加えて、太陽光設置事業者が目隠しを行う予定であったが、 されてはいるものの、お世辞にも配慮ある形での目隠しと は言えない状況。

#### ②目的:

伊香保の守り神であるお地蔵さんと合わせて、現在の場所を伊香保の玄関口として、地域×アートの文脈で、現状を良い方向に変える一歩にできないか。



## SEAアーティスト募集企画:お地蔵さんPJ

## お地蔵さん所在地

所在地地番:渋川市伊香保町伊香保547-1,547-5

GoogleMAP上座標: 36.498607, 138.929587

面積(推定):駐車場部分:長辺約50m×短辺10m程度



お地蔵さん













#### 目指す方向性

アーティストが地域と関わる中で地域の人たちの行動変容を促し、地域課題を解決の方向に導いていく。



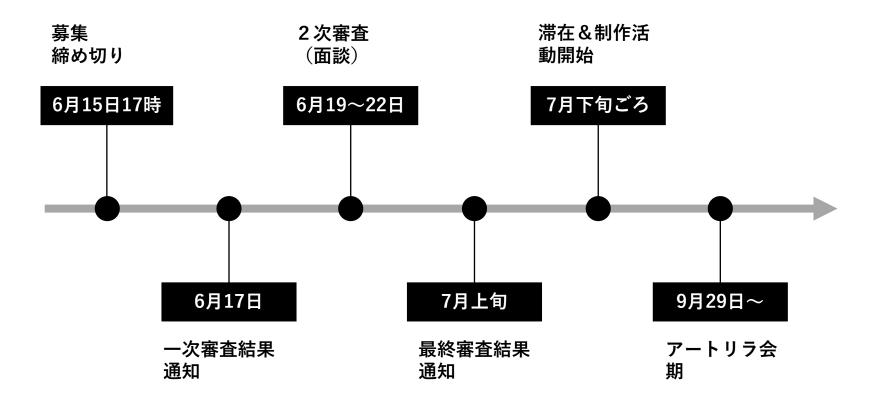
## 本プロジェクトの目指すところ

- ①現状を知る(お地蔵さんの昔からの言い伝えなど)
- ②考える(どうすればお地蔵さんにとって、地域にとって良い方向か)
- ③実行する(誰を巻き込んで、どうやっていくか)

を共に考えてくれるアーティストを募集+地域住民+ボランティアと一緒に作っていくプロジェクト

• 渋川アートリラ2024 in 伊香保 企画概要

• ソーシャリーエンゲージドアート企画について



# アーティストが住まう街 伊香保 アートによりさらなる彩りを

かつての竹久夢二のように、伊香保は文人に愛され、文化を育んできた街。

アーティストが旅館に住まい、製作活動を通して、地元の方々と交流することで、新たな文化を創造し、そのアートが伊香保にさらなる彩りを与えてくれる。

アートはどんなしがらみもなく、自由に表現されます。その自由な表現から与えられるインスピレーションは人それぞれ。その作品の解釈に正解はなく、個々人が感じたままそれを受け入れることができます。

アート表現を受け入れることは、多種多様な考え方を認め合うことにも繋がります。そうした繋がりがアー ティストと交流することで、街全体に広がり、そこに新たなコミュニティが生まれることを願います。